

2021年3月期 第3四半期決算概要



日進工具株式会社

2021年1月29日
(証券コード6157)

目次

1. 2021年3月期3Qの業績	P. 3 . . .	第3四半期決算（累計）の概要
	P. 4 . . .	営業利益の減益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	四半期業績推移
<hr/>		
2. 2021年3月期の業績予想	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	下期業績予想と進捗率
	P. 16 . . .	配当予想
<hr/>		
参考資料	P. 18 . . .	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 19 . . .	投資指標
	P. 20 . . .	株価推移とバリュエーション
	P. 21 . . .	I R 情報サイトのご案内

2021年3月期 第3四半期の業績



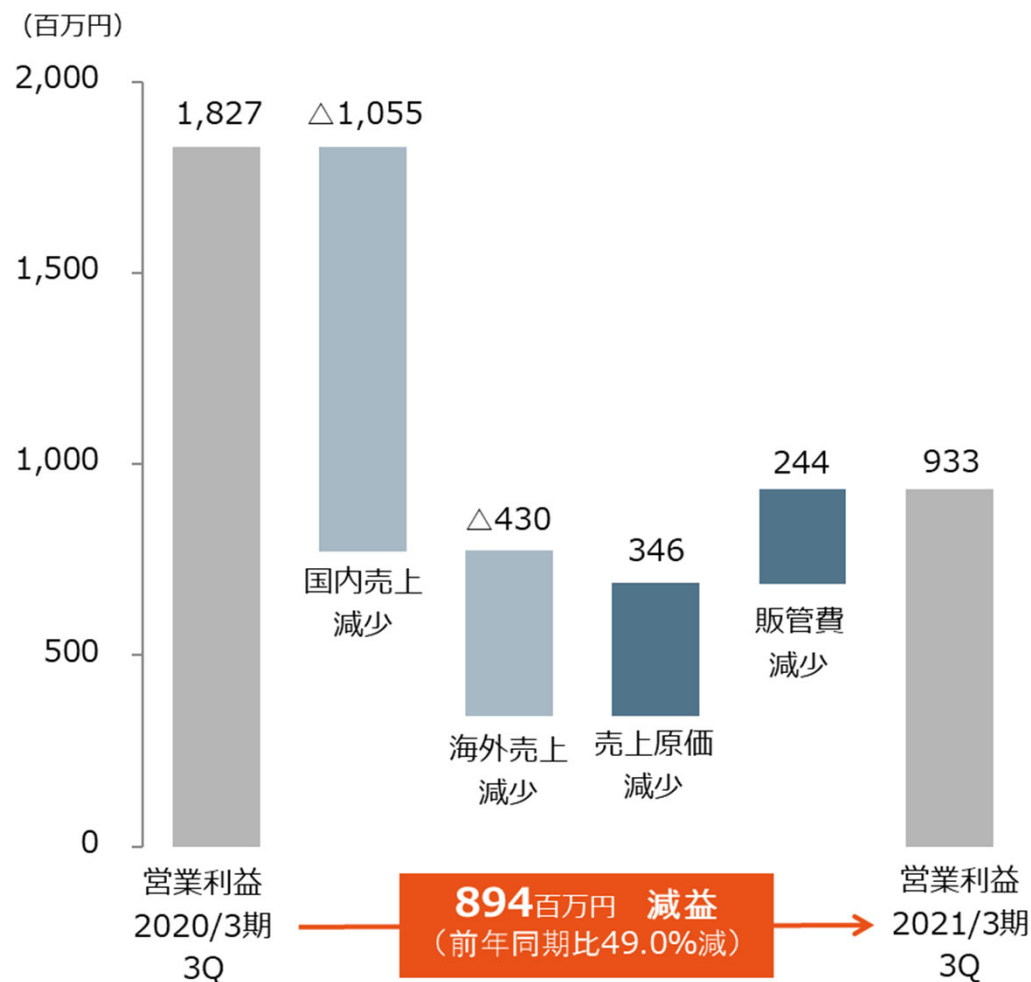
第3四半期決算（累計）の概要

新型コロナウイルスの影響から大幅な減収・減益となるが、徐々に回復傾向へ

(単位：百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2021年3月期	進捗率
	3Q累計	3Q累計	通期予想	
売上高	7,321	5,835	7,930	73.6%
前年同期比	-8.2%	-20.3%	-16.8%	
営業利益	1,827	933	1,460	63.9%
前年同期比	-16.4%	-49.0%	-34.2%	
経常利益	1,831	1,123	1,650	68.1%
前年同期比	-16.5%	-38.7%	-26.1%	
四半期純利益	1,226	760	1,150	66.1%
前年同期比	-18.0%	-38.0%	-25.6%	

- 新型コロナウイルス感染症拡大による大幅な落ち込みから、徐々に回復。秋口以降は当社製品の流通在庫の調整も進み、連結売上高は前年同期比20.3%減の5,835百万円。まだ昨年の水準を大きく下回るが、第2四半期時点（同26.3%減）に比べ減収幅は縮小。
- 連結経常利益は同38.7%減の1,123百万円。依然大幅減益ではあるが、生産数量も戻りつつあり、利益面でも回復傾向。
- 売上高経常利益率は19.3%と同5.7ポイントの低下だが、第2四半期時点の12.2%に比べ改善。

営業利益の減益要因



- 売上高は、国内が前年同期比1,055百万円、20.8%減少、海外も同430百万円、19.2%の減少となり、売上高全体で同1,486百万円、20.3%減少した。
- 売上原価は、材料費や外注加工費といった変動費が生産減により同3割強減少、労務費や製造経費も1割弱減少したものの、製品在庫が大きく減少したため、売上原価は同346百万円、10.5%の減少に止まった。
- 販管費は、販売促進費や広告宣伝費の減少等から、全体で同244百万円、11.1%減少した。
- これらの結果、営業利益は933百万円となり同49.0%減少、売上高営業利益率は16.0%で前年同期の水準を9.0ポイント下回った。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2020年3月期 3Q累計	2021年3月期 3Q累計	前年同期比 増減率
売上高	7,321	5,835	-20.3%
売上総利益 対売上高比率	4,029 55.0%	2,889 49.5%	-28.3%
販管費 対売上高比率	2,201 30.1%	1,956 33.5%	-11.1%
営業利益 対売上高比率	1,827 25.0%	933 16.0%	-49.0%
経常利益 対売上高比率	1,831 25.0%	1,123 19.3%	-38.7%
四半期純利益 対売上高比率	1,226 16.8%	760 13.0%	-38.0%
設備投資額	1,600	200	-87.5%
減価償却費	507	527	+4.0%
従業員数（人）	343	347	+1.2%

- 売上高は5,835百万円と前年同期比20.3%の減少。秋口以降は回復の兆しが見え始め、減収幅が縮小。
- 売上高の減少から売上総利益は2,889百万円と同28.3%の減少となり、売上総利益率も49.5%と同5.5ポイント低下。
- 販管費は人件費、一般管理費ともに抑えられ、同11.1%の減少。それでも売上高の減少が大きく、売上高販管費比率は33.5%と同3.4ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同49.0%減の933百万円と半減、売上高営業利益率も16.0%と9.0ポイント低下。
- 設備投資額は、前期に新開発センターや子会社新工場の竣工があったことに加え、当期は一部の設備投資を延期したことから87.5%の減少となる200百万円。減価償却費は、新開発センターの償却等が加わり4.0%増加の527百万円。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2020年 3月期末	構成比	2021年 3月期3Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	9,555	59.7%	10,113	63.2%	+5.8%
現金及び預金	5,784	36.1%	6,937	43.4%	+19.9%
受取手形及び売掛金	1,366	8.5%	1,263	7.9%	-7.5%
棚卸資産	2,201	13.7%	1,775	11.1%	-19.3%
II 固定資産	6,462	40.3%	5,878	36.8%	-9.0%
有形固定資産	5,748	35.9%	5,349	33.5%	-6.9%
無形固定資産	52	0.3%	34	0.2%	-33.4%
投資その他の資産	661	4.1%	493	3.1%	-25.3%
資産合計	16,017	100.0%	15,991	100.0%	-0.2%
(負債の部)					
I 流動負債	1,265	7.9%	859	5.4%	-32.0%
買掛金	208	1.3%	140	0.9%	-32.6%
II 固定負債	254	1.6%	254	1.6%	-0.2%
負債合計	1,519	9.5%	1,114	7.0%	-26.7%
(純資産の部)					
自己資本合計	14,374	89.7%	14,693	91.9%	+2.2%
純資産合計	14,498	90.5%	14,877	93.0%	+2.6%
負債・純資産合計	16,017	100.0%	15,991	100.0%	-0.2%

流動資産

支出が少なかったこともあり、
現預金が増加したこと等から、
前期末比5.8%増加。

固定資産

新規取得が少なく減価償却費
が上回ったことから、同
9.0%減少。

負債

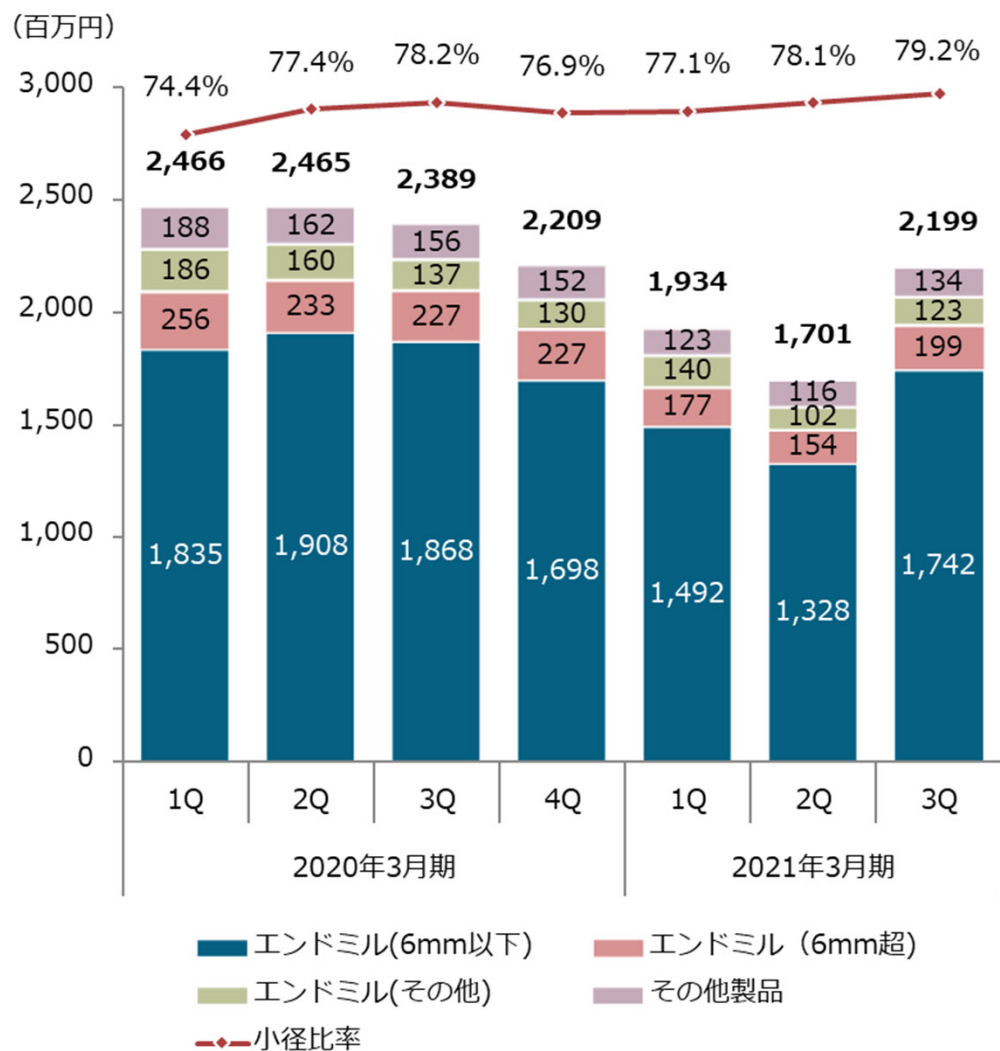
買掛金、未払法人税等、賞与
引当金の減少等により、
同26.7%の減少。

純資産

利益剰余金の増加等から、
同2.6%増加、負債の減少も
あり自己資本比率は91.9%と
同2.2ポイント上昇

四半期業績推移（売上高の推移①） 製品別

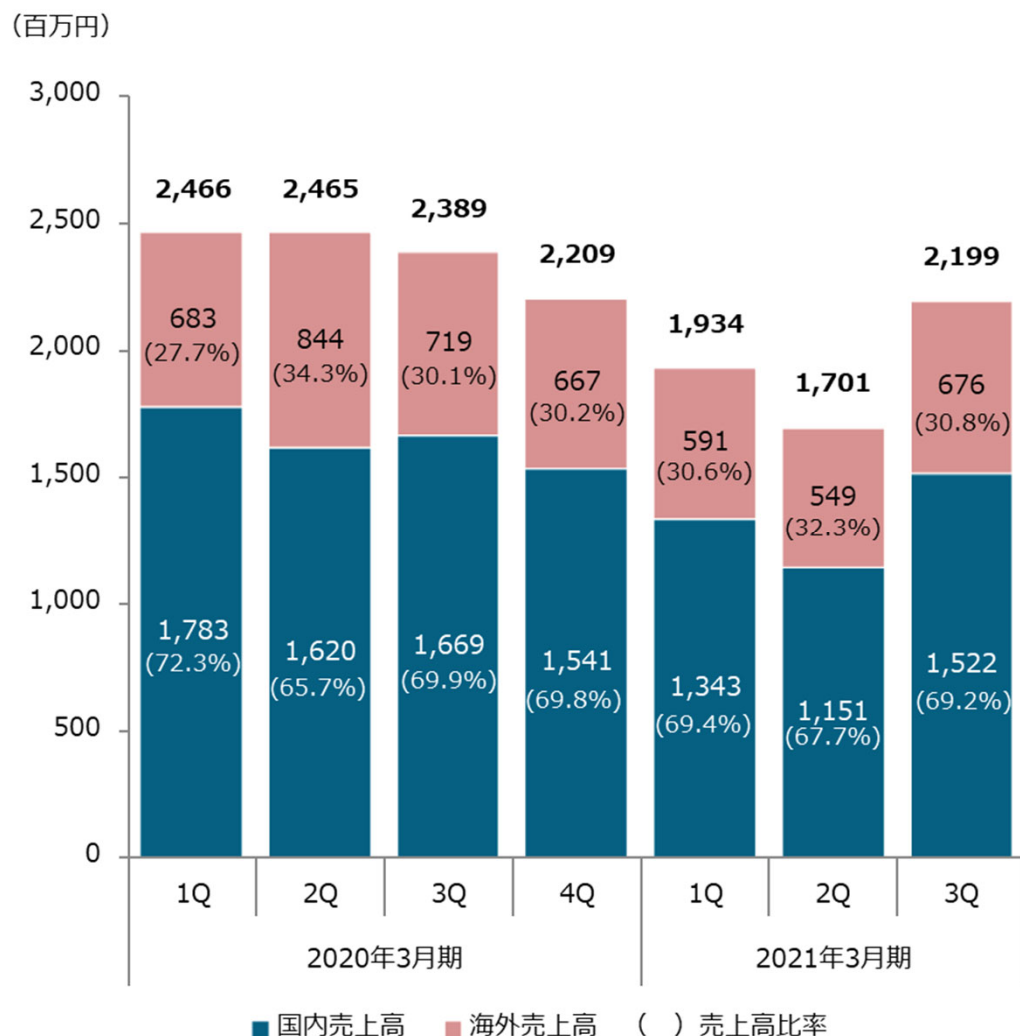
製品別売上高と小径比率の推移



- 自動車関連では、5月に前年同月比62.5%減まで落ち込んだ国内生産台数（軽含む乗用車）が10月には同10.0%増まで回復。電子部品・デバイス関連も、リモートワーク拡大によるパソコン等の伸びに加え、主カスマートフォン5G対応モデル発売等もあり堅調。主要需要先の回復から工具需要も徐々に回復し、秋口以降は流通在庫の調整も一巡。
- 主力のエンドミル（6mm以下）は前年同期比では6.7%減、エンドミル（6mm超）も同12.4%減となったが、前四半期比ではそれぞれ31.2%増、29.3%増となった。ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）も同様の動きであったが、工具ケース等のその他は前年同期比13.8%減、前四半期比15.6%増と他の製品区分に比べて戻りが鈍い状況。なお小径比率は小径製品の回復が目立ち、前年同期比1.0ポイントアップの79.2%。

四半期業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

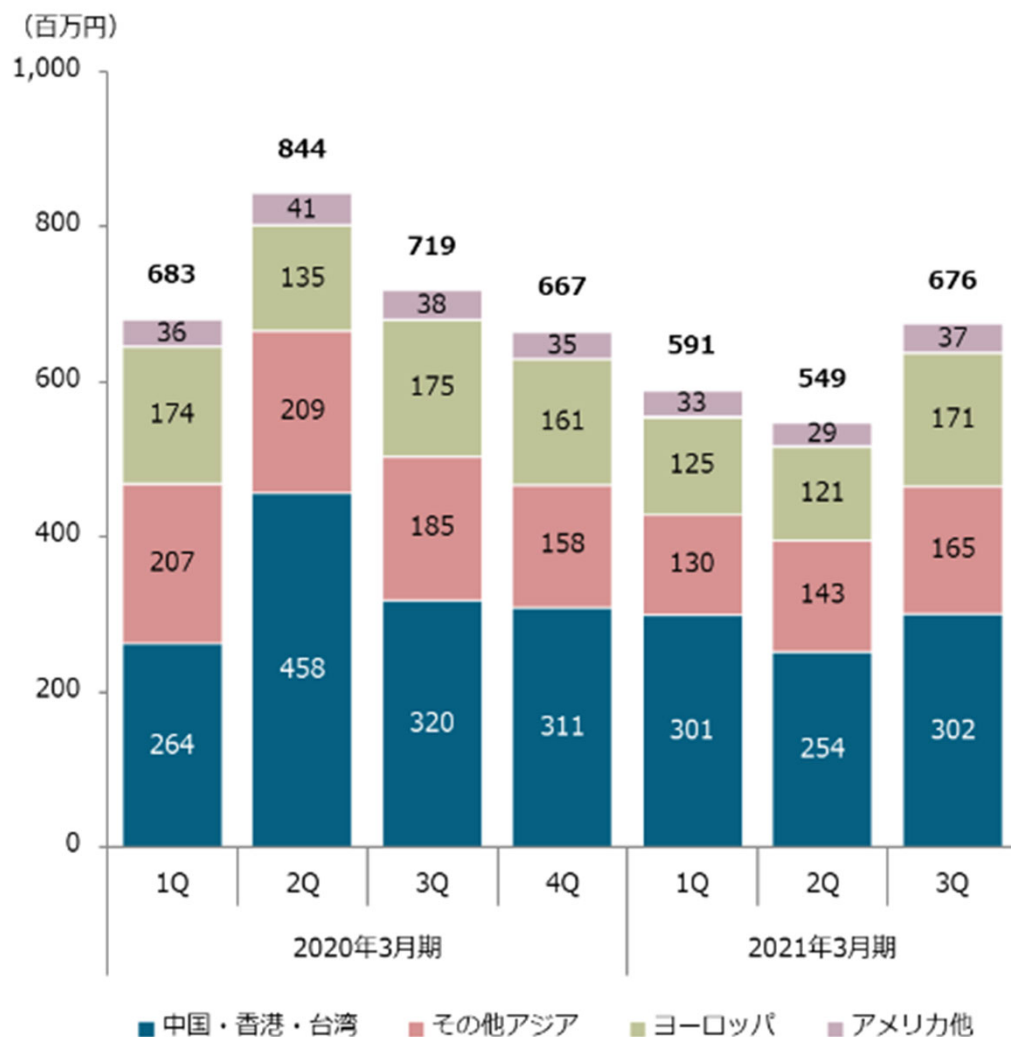
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期の水準から147百万円、8.8%減少し1,522百万円、前四半期比では32.2%の増加。海外売上高も前年同期比43百万円、6.0%減少の676百万円、前四半期比では23.2%の増加。
- 流通在庫の調整が厳しかった国内向けが、調整一巡により回復したことで、海外売上高の戻りを相対的に上回り、海外売上高比率は30.8%と前四半期比1.5ポイント低下した。

四半期業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

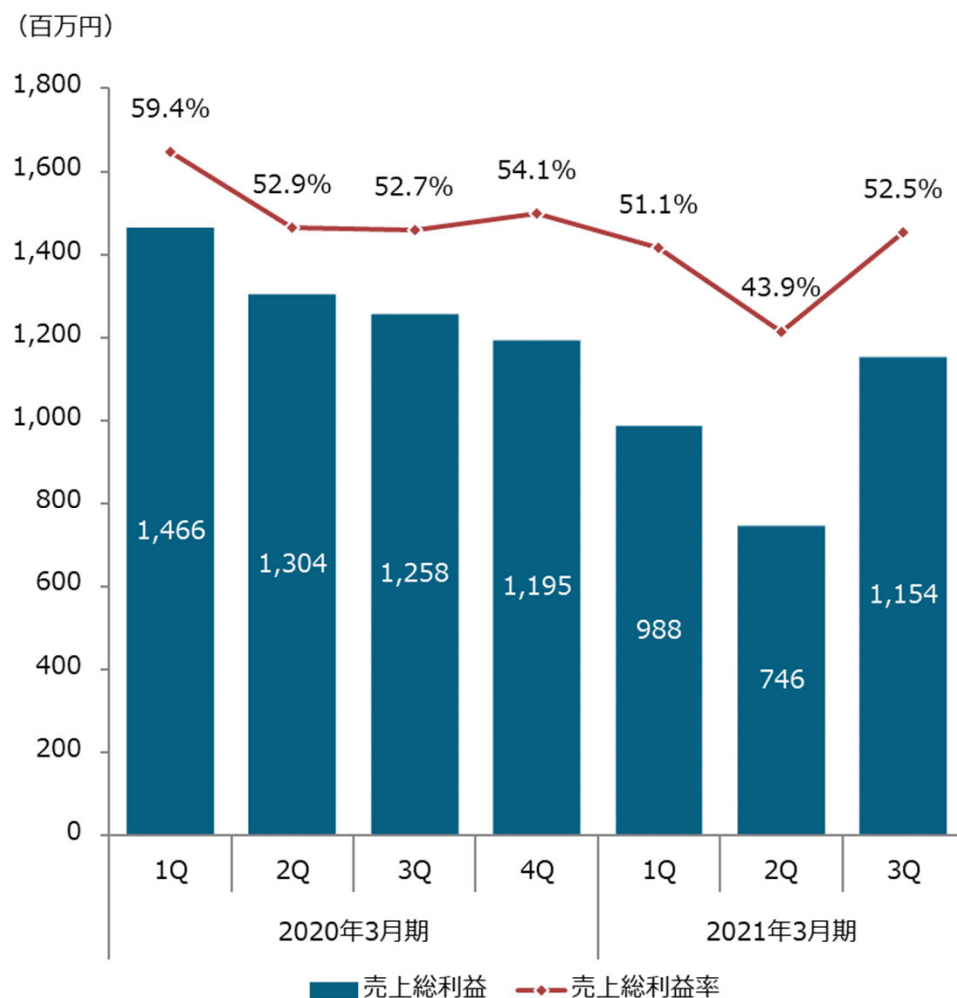
海外地域別売上高の推移



- 各地域ともに前年同期の水準には届かなかったものの、前年度第2四半期以来の前四半期比プラスとなった。
- 中国・香港・台湾は、中国で新型5G対応スマートフォン向けの仕事により大手ユーザーの稼働が回復したものの、前年同期比5.7%の減少。EV関連の仕事が増えており、スマホ関連に次ぐ市場として今後開拓を進める必要がある。
- その他アジアは同11.0%の減少。中国からの生産移管の話が聞かれたものの、他地域に比べ回復が遅れている状況。
- ヨーロッパは同2.4%減少と前年同期の水準に戻りつつあるが、新型コロナウイルスの感染拡大が気になり。自動車各社のEV化対応で動きが出ている。
- アメリカ他は同0.6%の減少とほぼ変わらず。

四半期業績推移（売上総利益の推移）

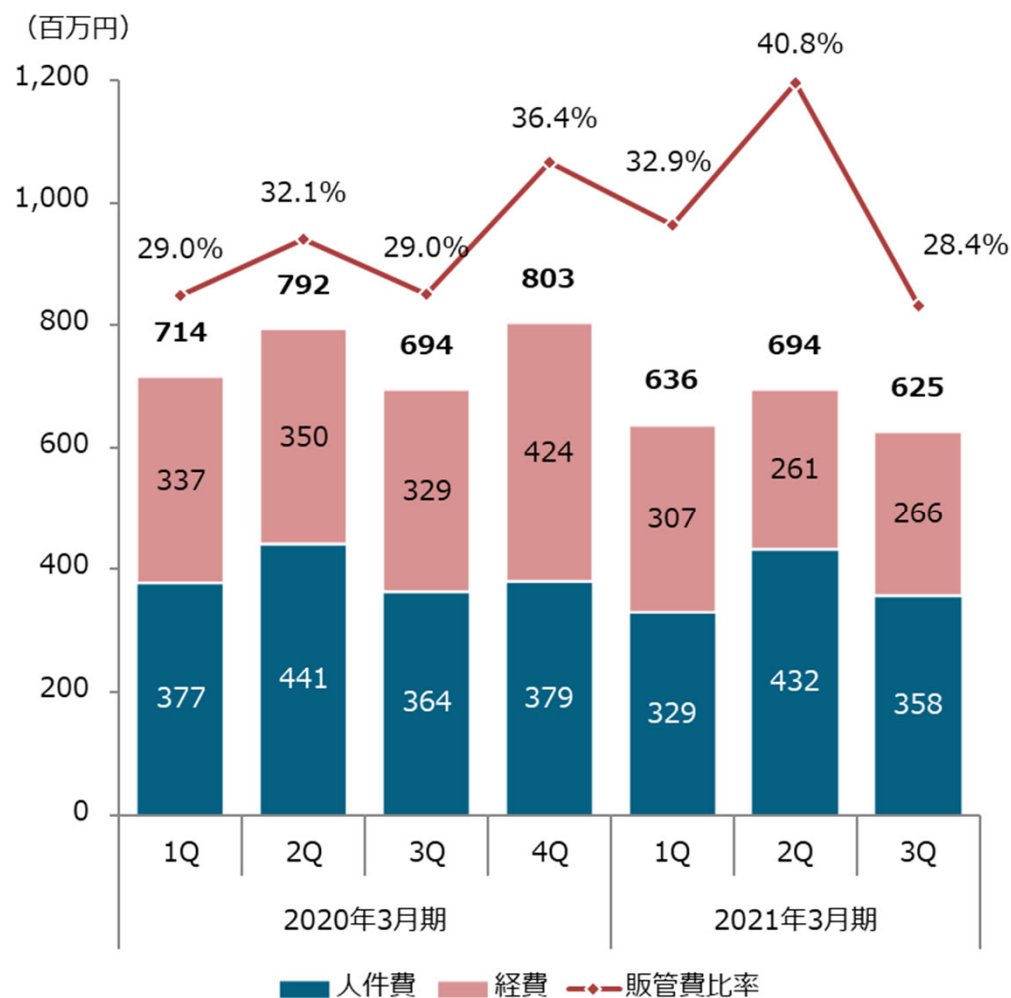
売上総利益と売上総利益率の推移



- 売上高の増加に加え、自社内での在庫調整進展に伴い期の途中より生産抑制を解除したことから稼働率が向上。売上総利益率は50%台を回復。
- 生産数量の減少により原材料費が前年同期比10.3%減少、外注加工費は同27.0%減少。原材料費が外注加工費に比べ低下幅が小さいが、その分仕掛品が増加している。固定費では労務費が同4.4%減少、製造経費が同14.1%の減少となり当期製造費用は同12.9%の減少となった。また、生産増加に向け仕掛品を増やしたことから製品製造原価は同22.5%の減少となった。
- 生産量は増やしたものの、結果的に販売数量が勝ったため製品在庫の減少が拡大し、売上原価は同7.5%の低下に止まった。売上総利益は同8.3%減の1,154百万円、売上総利益率は同0.2ポイント低下の52.5%であった。

四半期業績推移（販管費の推移）

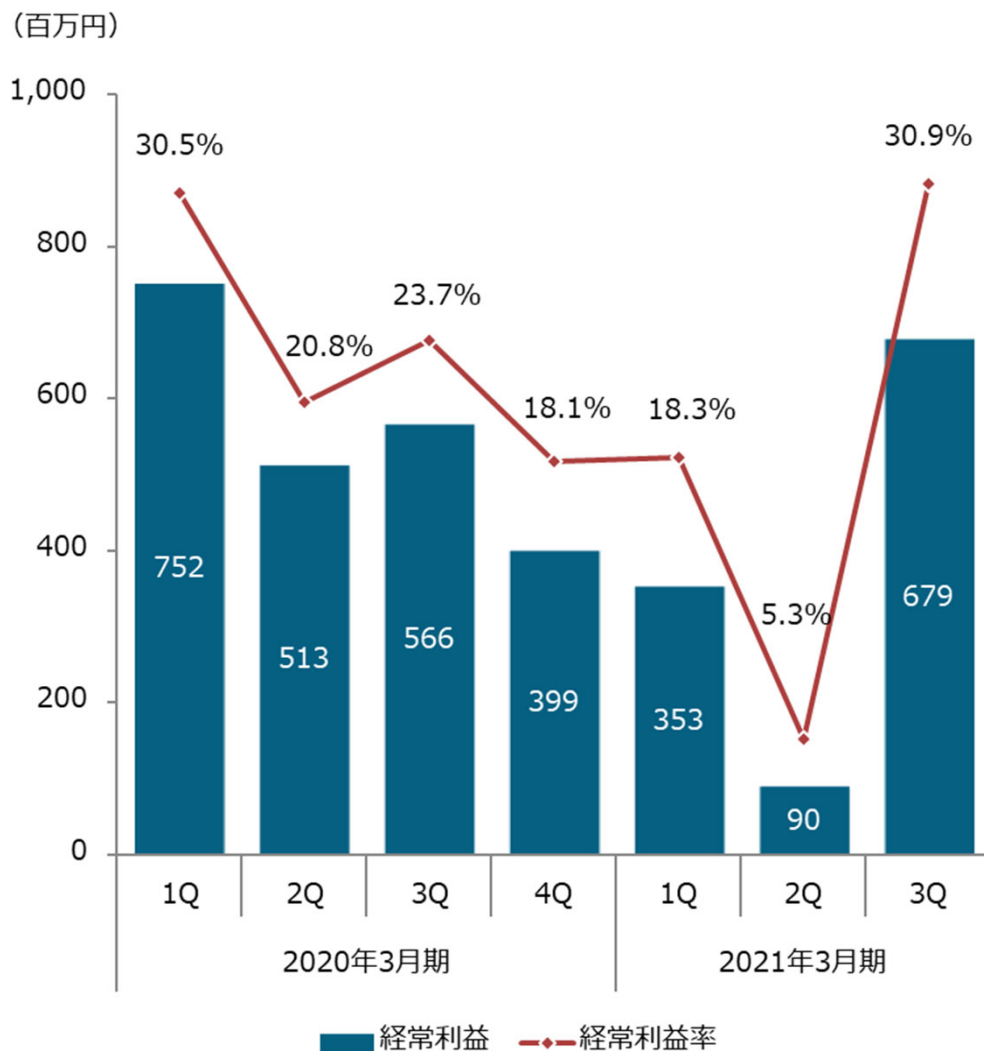
販管費と販管費比率の推移



- 人件費は、減益に伴う賞与や賞与引当金繰入の減少等から前年同期比1.6%減少の358百万円。
- 経費は、各種展示会の中止や総合カタログ改訂版発行の延期、訪問営業の自粛等により同19.1%減少の266百万円。
- 販管費全体では同9.9%減少し625百万円。売上高販管費比率は、4四半期ぶりに30%を下回り、前年同期比0.6ポイント低下の28.4%。

四半期業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 前年同期比8.0%の減収となったが、販管費が同9.9%の減少となり、営業利益は同6.3%減少の528百万円。
- 営業外損益では、雇用調整助成金等の助成金収入25百万円と生命保険の解約に伴う返戻金122百万円の計上があり、経常利益は679百万円と同20.0%の増益。
- 売上高経常利益率は30.9%と前年同期に比べ7.2ポイント上昇。なお第三四半期累計期間の売上高経常利益率は19.3%で、前年同期に比べ5.7ポイント低く、まだ目標の20%に届いていない。

2021年3月期の業績予想



業績予想

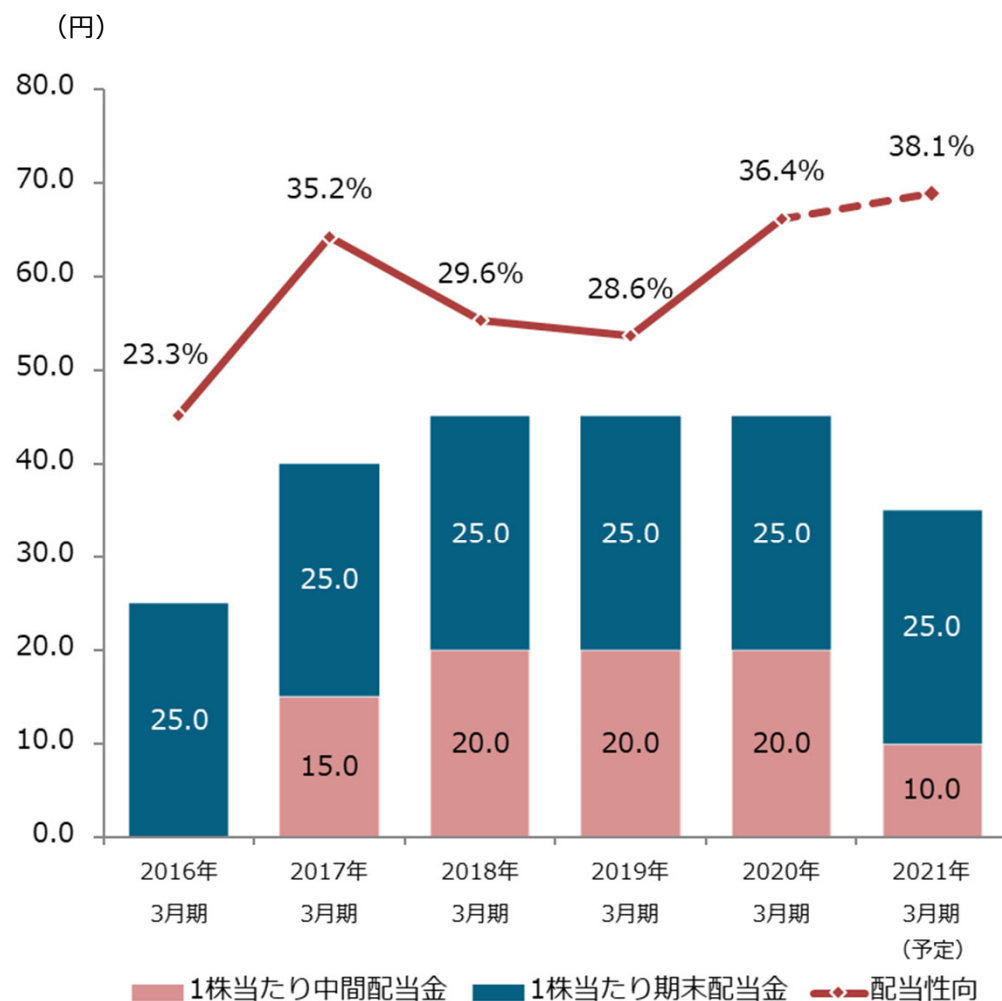
(単位：百万円)	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,531	7,930	-16.8%
営業利益	2,219	1,460	-34.2%
経常利益	2,231	1,650	-26.1%
当期純利益	1,545	1,150	-25.6%
設備投資額	1,755	357	-79.6%
減価償却費	698	714	+2.3%
EPS (円)	123.62	91.97	-25.6%
1株当たり配当金 (円)	45.00	35.00	-22.2%

- 新型コロナウイルスの感染終息が見通せないなか、外出制限等により消費や経済が停滞する懸念がある一方、5G対応スマートフォンの新機種の販売好調や自動車生産の回復もあり、経済全体としては厳しい状況が続くものの、製造業については一定程度の稼働が継続するものと判断。
- 設備投資は、自動化等、製品品質や生産効率の向上を図る機械設備の導入が中心。20年3月期は新開発センターの竣工等から多額となった。当期は一部設備の導入を次期に繰越したことから当初計画に比べ減少。
- 1株当たり期末配当については、業績予想に鑑み25円と前期と同額を予定。中間配当との合計では、昨年度の45円から35円へ減少。なお業績予想に対する配当性向は38.1%となり、昨年度実績の36.4%から1.7ポイント上昇。

下期業績予想と進捗率

(単位：百万円)	2021年3月期								
	下期予想	売上比	3Q実績	売上比	下期 進捗率	通期予想	売上比	3Q累計 実績	通期 進捗率
売上高	4,294	—	2,199	—	51.2%	7,930	—	5,835	73.6%
前年同期比	-6.6%		-8.0%			-16.8%		-20.3%	
営業利益	1,055	24.6%	528	24.0%	50.1%	1,460	18.4%	933	63.9%
前年同期比	+10.4%		-6.3%			-34.2%		-49.0%	
経常利益	1,205	28.1%	679	30.9%	56.3%	1,650	20.8%	1,123	68.1%
前年同期比	+24.8%		+20.0%			-26.1%		-38.7%	
当期純利益	874	20.4%	485	22.1%	55.5%	1,150	14.5%	760	66.1%
前年同期比	+22.7%		+23.1%			-25.6%		-38.0%	

配当予想（株主還元について）



※2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

業績に応じた利益還元

- 2020年3月期の1株当たり年間配当金は45円。
中間配当20円、期末配当25円
配当性向は36.4%
- 2021年3月期の1株当たり年間配当金は35円を予定。
中間配当10円、期末配当25円
業績予想に対する配当性向は38.1%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1単元（100株）以上を保有する株主様を対象に
オリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を
追加で贈呈。

參考資料

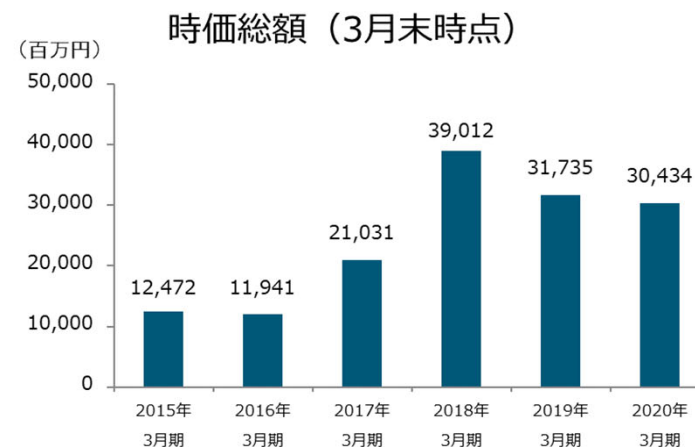
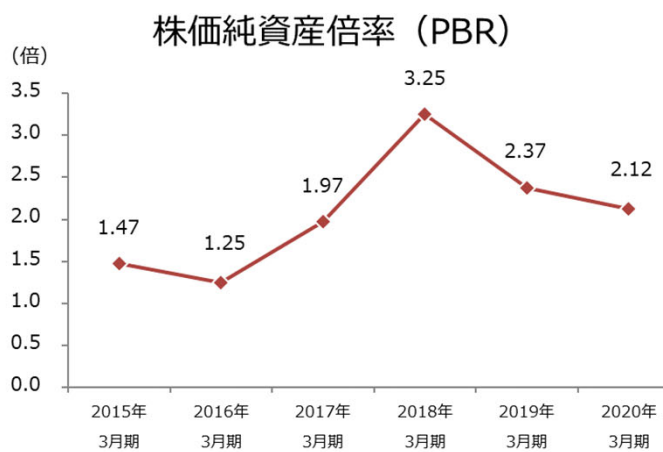
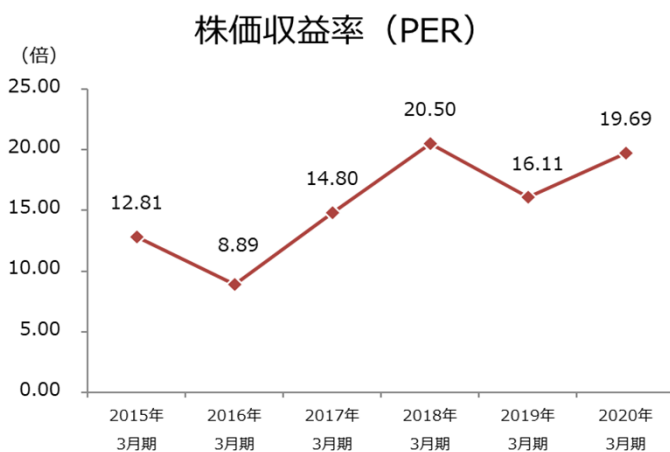
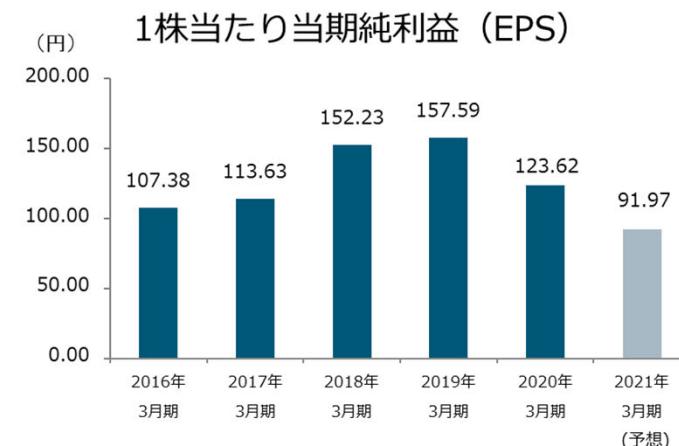
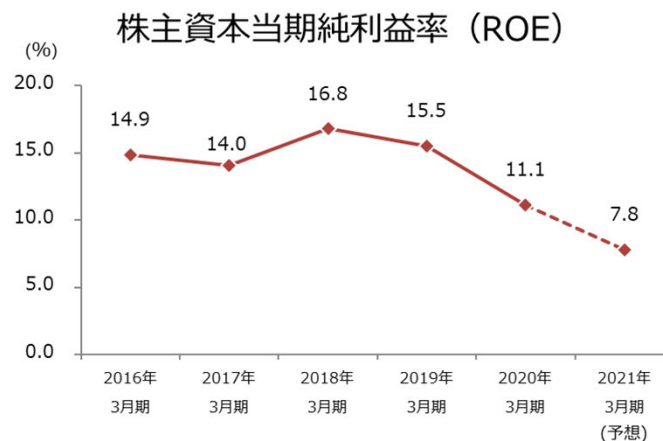
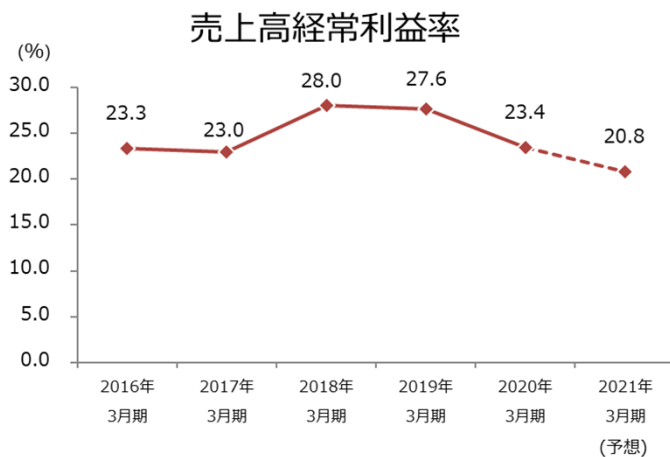


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績
売上高	8,382	8,825	9,767	10,476	9,531
営業利益	1,914	2,013	2,695	2,879	2,219
営業利益率	22.8%	22.8%	27.6%	27.5%	23.3%
経常利益	1,954	2,026	2,733	2,894	2,231
経常利益率	23.3%	23.0%	28.0%	27.6%	23.4%
当期純利益	1,342	1,420	1,903	1,970	1,545
当期純利益率	16.0%	16.1%	19.5%	18.8%	16.2%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	9,569	10,666	12,002	13,461	14,498
総資産額	11,371	12,517	14,467	15,381	16,017
自己資本比率	84.2%	85.2%	83.0%	87.1%	89.7%
設備投資額	1,295	774	663	1,268	1,755
減価償却費	505	632	625	629	698
1株当たり配当金 (円)	25.00	40.00	45.00	45.00	45.00
従業員数 (人)	280	322	338	343	338

※2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

投資指標



※ 2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2021年1月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2021年1月28日現在）

売買単位	100株
時価総額	336億円
ROE (20/3期実績)	11.1%

単元株価格	26万9,100円
PER (21/3期予想)	29.26倍
PBR (20/3期実績)	2.34倍

IR情報サイトのご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). Below the navigation bar, there is a header section with 'Investor Relations' and 'IR情報' (with a sub-code '東証一部 コード：6157'). The main content area is divided into two columns. The left column features 'IRトピックス' and 'IRニュース' sections. The right column features an 'IR情報' sidebar with a list of links: 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', '+ 経営方針・体制', '+ 事業戦略', '+ 業績・財務情報', '+ IRライブラリー', '+ IRイベント', '+ 株式情報', and 'よくあるご質問'. Callout lines from the text on the right point to these sections: 'IRトピックス' points to the top-left article, 'メニュー項目' points to the sidebar, and 'IRニュース' points to the bottom-left article.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員経営企画室長 田島 寛
管理部 経理課課長 今関 弘毅
管理部 I R担当 松尾 友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。